

再生可能エネルギーって？

太陽光、風力など繰り返し使うことができるエネルギー源のことを「再生可能エネルギー」と呼んでいます。

地球温暖化の原因となる二酸化炭素（CO2）をほとんど出しません。

愛川ソーラーパークの概要

●メガソーラー設備	
敷地面積	32,000 m ²
発電方式	太陽光発電
パネル種類	多結晶シリコン
最大出力	1,896kW
太陽電池設置台数	7902 枚
年間発電電力量	188 万 kWh (シュミレーション値)
パワーコンディショナ	250kW-9 台 (三相 3 線式、400V)

●防災機能付太陽光発電設備 (メガソーラー設備に含む)

発電方式	太陽光発電
パネル種類	多結晶シリコン
太陽電池容量	3.84kW (固定型) 1.44kW (二軸追尾型)
太陽電池設置台数	16 枚 (固定型) 6 枚 (二軸追尾型)
パワーコンディショナ	4.5kW-1 台 (单相 2 線式、200V)
蓄電池容量	8.96kWh

●その他付帯設備

シンボル	二軸追尾型太陽光発電設備「クルパネくん」
普及啓発施設	説明用表示パネル (発電電力表示等)
地域振興施設	ツツジ庭園 芝の遊歩道、展望広場 電気自動車用充電設備 LED 防犯灯 など



クルパネくん

発電施設を見学するには？

水力発電所の見学については、階段の昇り降りが必要な場所があることや、点検作業などにより、人数や対象年齢などについて制約をつけさせていただいたり、ご希望に添えない場合もございますので、ご承知願います。

城山発電所

夜間のおもった電力で揚水し、電気が多く使われるときに発電します。
最大出力 ■250,000kW
所在地 ■相模原市緑区川尻
見学日 ■平日 (土日祝日を除く)
見学方法 ■無料、要予約

(原則団体に限る 5~40 名様まで)
特別企画 ■夏休みの企画として、「ワクワク体験・地下発電所の探検」(8月下旬) を行う予定です。

連絡先 ■発電総合制御所
TEL 042-782-2813

愛川第 1 発電所

宮ヶ瀬湖の水で発電します。
最大出力 ■24,200kW
所在地 ■愛甲郡愛川町半原
見学方法 ■無料、4 月から 11 月までの毎月 1 回
見学日 ■(宮ヶ瀬ダム観光放浪実施日)
連絡先 ■相模川発電管理事務所
TEL 042-782-0821

城山ソーラーガーデン

太陽光発電設備や PR 施設があります。
最大出力 ■80kW
所在地 ■相模原市緑区谷ヶ原
見学方法 ■無料、要予約
(原則団体に限る)
見学日 ■平日 (土日祝日除く)
連絡先 ■相模川発電管理事務所
TEL 042-782-0821

愛川ソーラーパーク

県営初のメガソーラーです。
最大出力 ■1,896kW
所在地 ■愛甲郡愛川町半原
見学方法 ■無料
大型車 (マイクロバスを含む) で駐車場を利用する場合、また現場での説明を希望する場合は、事前にご予約が必要です。
休館日 ■毎週月曜日 (祝日の場合はその翌日)
開所時間 ■AM9:00~PM5:00
(12/1~3/31) AM10:00~PM4:00
連絡先 ■かながわ水・エネルギーサービス
TEL 042-768-0222

あいかわ・つくい次世代エネルギーパークについては下記までお問い合わせください。

神奈川県企業庁発電課
〒231-8588 横浜市中区日本大通り 1
TEL(045)210-7292

次世代エネルギーパークに 関連する施設 宮ヶ瀬ダム水とエネルギー館 (電気ゾーン)

水車発電機の模型や、発電所バーチャルツアーなど、水力発電について学べるアトラクションや、実物大太陽光パネルを使用した模型など、次世代エネルギーパークに関連する展示があります。

所在地 ■愛甲郡愛川町半原
見学方法 ■無料
連絡先 ■宮ヶ瀬ダム水とエネルギー館
TEL 046-281-5171

次世代エネルギーパーク バスツアーのご案内

愛川ソーラーパークと県営発電所のバスツアーを年 3 回実施
コース 1 ●愛川ソーラーパーク～水とエネルギー館～城山発電所
コース 2 ●愛川ソーラーパーク～水とエネルギー館～相模発電所
コース 3 ●愛川ソーラーパーク～水とエネルギー館～津久井発電所
■実施日時やツアー参加募集等については、「企業庁ホームページ」や「県のたより」等広報誌でご案内します。

企業庁HP <http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f27/>

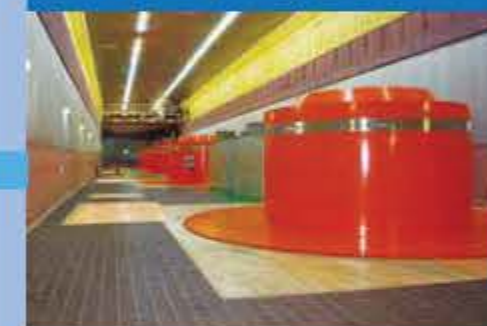


ご存知ですか？

あいかわ・つくい 次世代エネルギーパーク

次世代エネルギーパークを歩いてみよう！

散策 MAP 付



次世代エネルギーパークってなに？

次世代エネルギーパークは、再生可能エネルギー等に対する国民の理解増進を図るため太陽光等の再生可能エネルギー設備や体験施設等を整備したもので、経済産業省資源エネルギー庁長官が認定したものです。

愛川ソーラーパーク

愛川ソーラーパークは、最大出力 1,896kW の県営初のメガソーラーです。横浜スタジアム約 2.5 個分の広さ (32,000 m²) の敷地に約 8,000 枚の太陽電池パネルを設置し、一般家庭約 520 軒分の使用する電気を発電する施設です。施設内には、遊歩道やツツジ庭園を整備し、施設のシンボルとして設置した二軸追尾型太陽光発電設備「クルパネくん」は、いつも太陽光の方向を向いて発電しています。あいかわ・つくい次世代エネルギーパークはこのメガソーラーを中心として、愛川、津久井地域に集まっている水力発電所や太陽光発電設備などを組み合わせて、再生可能エネルギーの体験をしていただくものです。



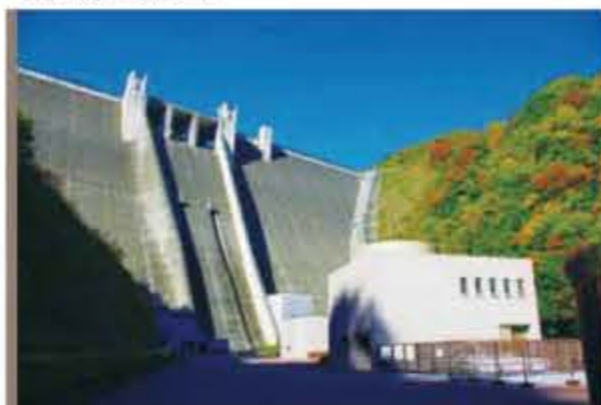
次世代エネルギーパークを歩いてみよう！

森の町内会
この印刷物に使用している用紙は森を元気にするための間伐と間伐材の有効活用に寄与する紙を使用しています。

神奈川の豊かな水と太陽の恵みを体験してください

あいかわ・つくい次世代エネルギーパーク散策MAP

愛川第1発電所



宮ヶ瀬ダム
水とエネルギー館

愛川ソーラーパーク



相模湖交流センター



相模発電所



自然豊かな愛川、津久井地区に宮ヶ瀬湖、相模湖、津久井湖があります。神奈川県企業庁では、これらの豊かな水の流れと、ふりそそぐ太陽の光を使って電気を作っています。

日本では生活が便利になるにつれて、エネルギー消費が増え続けていますが、エネルギーの大部分を石油、石炭や天然ガスに頼っているため、地球温暖化や、環境影響などエネルギーへの関心が高まっています。私たちの生活を守るためには、持続可能なエネルギーを確保して、これらの問題を克服していかなければなりません。

次世代エネルギーパークで、自然が生み出すエネルギーを感じてみてください。

あいかわ・つくい地区エネルギーパーク 主要発電施設

水力発電	太陽光発電
相模発電所 31,000 キロワット	愛川ソーラーパーク 1,896 キロワット
津久井発電所 25,000 キロワット	城山ソーラーガーデン 80 キロワット
愛川第1発電所 24,200 キロワット	城山湖ソーラー展望台 4.8 キロワット
城山発電所(揚水式) 250,000 キロワット	

あいかわ・つくい次世代エネルギーパークは相模湖、宮ヶ瀬湖、津久井湖の3つのエリアに分かれて施設があるよ。



城山湖ソーラー展望台



城山発電所



城山ソーラーガーデン



津久井発電所

津久井湖エリア

このエリアには津久井湖の水を使って発電する津久井発電所や、余った電気で津久井湖から城山湖に汲みあげた水を使って必要ときに発電する、揚水式の城山発電所があります。また、水力発電所以外にも、太陽光発電施設の城山ソーラーガーデンや、城山湖ソーラー展望台などがあります。

花の苑地や水の苑地では、津久井湖の自然に触れ、津久井湖記念館ではこの地域の歴史を学ぶことができます。

相模湖エリア

このエリアには相模湖の水を使って発電する相模発電所があります。

湖畔の公園の中にある、タービンイベント広場には発電所で実際に使われていた水車発電機のモニュメントがあります。相模湖交流センターにある相模湖記念館は、湖の歴史や自然、ダムの役割を楽しみながら学べる参加体験型のミュージアムです。

宮ヶ瀬湖エリア

愛川ソーラーパークがあるこのエリアはあいかわ・つくい次世代エネルギーパークの中心的エリアです。太陽光発電の他にも、宮ヶ瀬湖の水を使って発電する愛川第1発電所があります。

宮ヶ瀬ダム水とエネルギー館には次世代エネルギーパークを紹介する展示物や、水力や太陽光発電の仕組みを体感できるアトラクションがあります。

